

4月から医療センターの医師二人体制が実現しました。

今まで医師が一人だったために住民の皆さんにご迷惑をかけてきたことありますし、私自身も5年目でやっと自分の健康や一人であったために出来なかつた仕事に手をつけていけると考えています。そこで、今後もこの体制を維持していくためにも、医師二人体制についてご説明させていただきたいと思えます。

二人体制のメリット

二人体制の一番のメリットは外来の待ち時間が減ることだと思います。もちろん混雑することもあります。以前から比べると少ない待ち時間での受診が可能になると思います。

また、往診などの要望にも応えやすくなりました。皆さんからの要望があれば夜間診療なども考えていきたいと思っています。基本的に診療所は今までと変わらずに住民の皆さんにご利用いただけます。

24時間365日の救急対応

二人体制になったことで、普段当院を「かかりつけ医」としてこ



利用いただいている方については、夜間休日を含めた24時間365日の救急対応が可能になりました。

従来、日曜日や休日などは北部檜山医師会で決められた当番医を受診していただくのが基本でしたが、今後は定期的に当院へ通院中の方に限っては、いつでも受診できるようにしていくつもりです。

他の病院へ通院中の方は、急変時に今までの病歴や現在服用中の薬の情報などを把握している「かかりつけの医療機関に最初に診てもらおう」というのが患者さんにとって、もっとも安全な方法です。従来どおり夜間や休日に関しては、普段かかっている医療機関や当番医を受診していただきたいと思っています。

今後は一人体制でできなかったことを充実

今後は、以前から実践している

「病気になるための予防医学」、「町の医療費を削減するための各種事業の具体化」、「健康講話健康教育、健診を充実させ生活習慣病を減らす」、「在宅医療の充実」、「パワリハビリなどの前向きな医療や健康づくりへの応用」、「学会への積極的な参加」など、一人のときに出来なかつたことをより充実させたいと思います。

最終的な目標は...

最終的には「高齢者が毎日意味の無い注射や点滴に通い、医療費が高騰してそれを若い人たちが負担するという時代遅れのスタイルではなく、元気な高齢者が多くて若い人たちも健康についての知識が豊富でどこへ行っても恥ずかしい思いをしない」、「病人が少なくて医療費（税金）が安くて、瀬棚に住むと元気で長生きができ

る」、「高齢になっても元気で生きがいを持って仕事ができる」、「自分の健康を医者任せにするのではなくて自分で守っていく知識や方法を住民自身が持っている」といったことが目標です。

夢のような話だと思われるかもしれませんが、実現している町もありますし、その気になれば可能だと思っています。

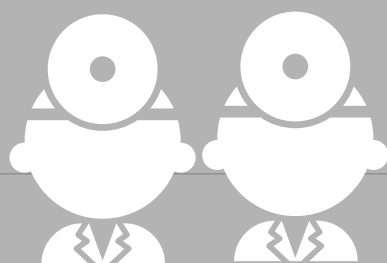
もちろん二人体制になったら何でもできるというわけではありません。あくまでも「真面目に決まりを守って通院し、リハビリを継続している人たち」、「大変な思いをして在宅で介護をしている人たち」、「定期的に健診を受けて病気になるないように工夫をしている人たち」など、町の医療費の削減に対して前向きに努力していただいている皆さんに最大限の支援ができるように活動をしていきたいと思っています。

瀬棚町医療センターは私が建てたものではなく、皆さんが自分たちで決断して作りあげた医療機関です。他人事のように批判をしていても何も変わりません。

ぜひ、自分たちで良い医療機関を作り上げていくという意識で参加していただきたいと思います。

診療所医師の 2人体制について

瀬棚町国保医科診療所所長 村上智彦



皆さんからの声をお待ちしております

まちづくりポストを ご利用ください!!

行政やまちづくりのことで気づいたこと、暮らしの中で感じたことや考えていることなどを自由に記載・投函していただくよう、役場や主な公共施設に「まちづくりポスト」を設置しました。町民皆さんからの声をこれまで以上に「まちづくりポスト」へお寄せください。

設置場所

役場
やすらぎ館（温泉）
医療センター
バス停留所（本町5区）

利用方法

備えつけの用紙に、ご意見やご提案を書いて「まちづくりポスト」に投函してください。



お寄せいただいたご意見・ご提案には必ずご返事しますので、忘れずに「おところ・お名前」を書いてください。

単なる中傷や営利目的などのご意見にはお答えできませんので皆さんのご協力をお願いします。

担当：総務町民課まちづくり推進係 河原・尾野 ☎7-3311

瀬棚町まちづくり活動支援事業助成金をご活用ください

まちづくり活動を支援します！

申込期限は
6月30日
までです

ふるさと「瀬棚」をもっと魅力ある住みよいまちに！

そんな願いを込めて、地域資源を活かし、さらに新たな魅力を生み出し育て、産業の振興やまちづくりのために活動を行う町内の団体やまちづくりグループ、個人を支援します。

例えばこんな活動を支援します

- 農林水産・商工・観光など地域産業の振興に関する活動
- 地域文化や地域資源の発掘や育成に関する活動
- 地域福祉やコミュニティの推進に関する活動
- 地域特産品の開発や育成に関する活動など

助成金額は、活動（事業）に要する経費の2分の1以内とし、予算の範囲内で助成します。（助成限度額は50万円です）

積極的なまちづくり活動と助成事業の活用を期待しています。（事前にご相談ください。）

自らの手で創る
私たちのまちづくり！



【担当】総務町民課まちづくり推進係 河原・尾野 ☎7-3311

SARS

【重症急性呼吸器症候群】



予防方法

100%ではありませんが、標準的な予防策です。

手洗いうがいをする

安静にして休養をとる（特に睡眠を十分に）

鼻・口をさわるときは、清潔な手でさわりましょう。

バランスの良い食事をする

無理のない生活を心がける

伝染地域（伝播確認地域）への旅行は延期を検討

サーズ シビア アキュート レスピレイトリー
SARSは、Severe Acute Respiratory
Syndromeの略で、日本では「重症急性呼

吸器症候群」と呼ばれ、中国広東省や香港、ハノイでの発生から世界20数カ国・地域で広がりを見せている原因不明の呼吸器疾患であり、世界中で大きな問題となっている新しく発見された感染症です。病原体は新種のコロナウイルス（SARSウイルス）です。

感染が疑われる症状

38度以上の急な発熱、せきや呼吸困難などの呼吸器症状が見られ、発症前10日以内にSARSの発生が報告されている地域に旅行したり、または発症者に接触した場合。

エレベーターや部屋の中など2m以内で発症者との接触があった場合にも感染例が報告されています。

感染経路

感染した人の飛沫、体液に接触することが感染の重要な原因とみられています。

潜伏期間

およそ2～7日です。これまでの報告から、体の変化に注意が必要とされる期間は10日間です。その期間を越えても症状がない場合は、発病の可能性が少なくなります。患者さんの80%～90%は、自然に治癒しています。

相談窓口... 八雲保健所今金支所 ☎2-0251

上記の症状が考えられる場合は、まず外出を控え、「保健所」に電話してアドバイスを受けるようにしてください。自己判断で医療機関を受診すると、ほかの患者への感染が考えられますので必ず「保健所」へ連絡をしてください。

地域内伝播が疑われる地域（平成15年5月27日現在 WHOホームページより）

カナダ（トロント） シンガポール（シンガポール） 台湾

中国（北京、広東、河北、湖北、山西、吉林、江蘇、香港中国特別行政区、内モンゴル自治区、陝西、天津）

SARSのくわしい情報については IDSC 国立感染研究所 感染症情報センター <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>



臨時託児所も設置

開催の際は、ボランティアセンターの協力により、臨時託児所を設置しますのでお気軽にご参加ください。

申込・お問い合わせ先

保健福祉課
(保健センター内)

☎7-3990

健康料理教室「^{あじさい}味彩倶楽部」を今年も開催します！

健康料理教室「味彩倶楽部」は幼児を持つお母さんを対象として昨年からはまった事業です。今年度についても瀬棚とれる食材を利用し、健康で安全な食材・食生活の改善に関する学習機会として、また、料理実習を通しての交流と情報交換を目的として、年6回の開催を予定しております。

会場：瀬棚町ふれあいセンター

対象：幼児（おおむね0～6歳）を持つ親・妊婦
第3回目については、一般参加者も対象

定員：先着15名程度（幼児は含まない）

参加料：食材費として500円程度（実施ごとに）



第1回 6月25日R 午前10:00～午後1:30

【テーマ】簡単においしく野菜を食べよう 申込みは20日まで
(内容) 野菜の基礎知識・料理教室・アンケート

献立：ニラいっぱいの子チミ、具たくさんワンタンスープ
えん菜とささみのカシューナッツ炒め

第2回 7月17日S

午前10:00～午後1:30

テーマ及び献立などは、1回目のアンケートをもとに決定しますので、現在未定です。

皆さんの地区の保健推進委員をご紹介します

担当地区	氏名(世帯主)	電話番号
三本杉	今美代子(貞晴)	☎7-2524
本町1区	小川キヨ(徹)	☎7-2531
本町2区	前田みえ(忠義)	☎7-3701
本町3区	羽二生純子	☎7-3524
本町4区	斉藤ナツ(正信)	☎7-3571
	喜多真知子(勉)	☎7-2516
本町5区	佐藤千鶴子(節夫)	☎7-3105
	宗像愛子	☎7-2251
本町6区	古守慶子	☎7-3506
	碓谷美栄子(昌弘)	☎7-3231
本町7区	中谷洋子(雄一)	☎7-3939
本町8区	村田ミヨ子	☎7-3516
	田村久江(光夫)	☎7-3708
本町9区	瀬山すみ子(義雄)	☎7-3338
本町10区	安藤貞子(重一)	☎7-3930
元浦1区	柴崎文子(庄次郎)	☎7-3073
元浦2・3区	又村直子(豊)	☎7-3446
元浦4区	小町テツ(敏)	☎7-3350
島歌1区	新保照子(静夫)	☎7-3388
島歌2区	新保頼子(健)	☎7-2577
島歌3区	大島裕子(正史)	☎7-2567
北島歌1区	森恵美子(徳一)	☎7-2380
北島歌2区	喜多ミツ子	☎7-2372
西大里	弥左チヨ(實)	☎7-2029
東大里	梅澤初美(泰裕)	☎7-2342
共和・南川	関田禮子(勇人)	☎7-2056

各種検診の日程についてお知らせします



今年度の各種検診の日程は次のとおりです。医師などの都合により日程が変更になる場合もありますのでご注意ください。

検診名	日程	対象	検査項目
夏のミニドック	7月13日H 7月14日I	40歳以上	生活習慣病検診(血圧測定、身体測定、血液検査、尿検査、ピロリ菌検査、眼底検査、心電図検査) 肝炎検査、前立腺がん検診(男性希望者)、胃部X線検査、喀痰細胞診(必要と認められた者)、骨粗しょう症検診、大腸がん検診
冬のミニドック	2月1日H 2月2日I	40歳以上	生活習慣病検診(血圧測定、身体測定、血液検査、尿検査、ピロリ菌検査、眼底検査、心電図検査) 肝炎検査、前立腺がん検診(男性希望者)、胃部X線検査、喀痰細胞診(必要と認められた者)、大腸がん検診
子宮・乳がん検診	10月16日L	40歳以上 (子宮は30歳以上)	触診、マンモグラフィー、子宮頸部内診・エコー(希望者のみ)、子宮体部細胞診(必要とみとめた者)、骨粗しょう症検診
税の申告時検診	2月中旬～ 3月初旬	40歳以上	血液検査・尿検査、血圧測定、肝炎検査、ピロリ菌検査、前立腺がん検診(男性希望者)
フレッシュ検診	11月4日J 5日K 12日K 13日L	フッ素塗布 対象児の母	血液検査・尿検査、血圧測定、肝炎検査、ピロリ菌検査ほか
脳の検診	毎週火曜日	町民	血液検査・尿検査、歯周病検診・頭部CT検査・肝炎検査・ピロリ菌検査・前立腺がん検診(男性希望者)